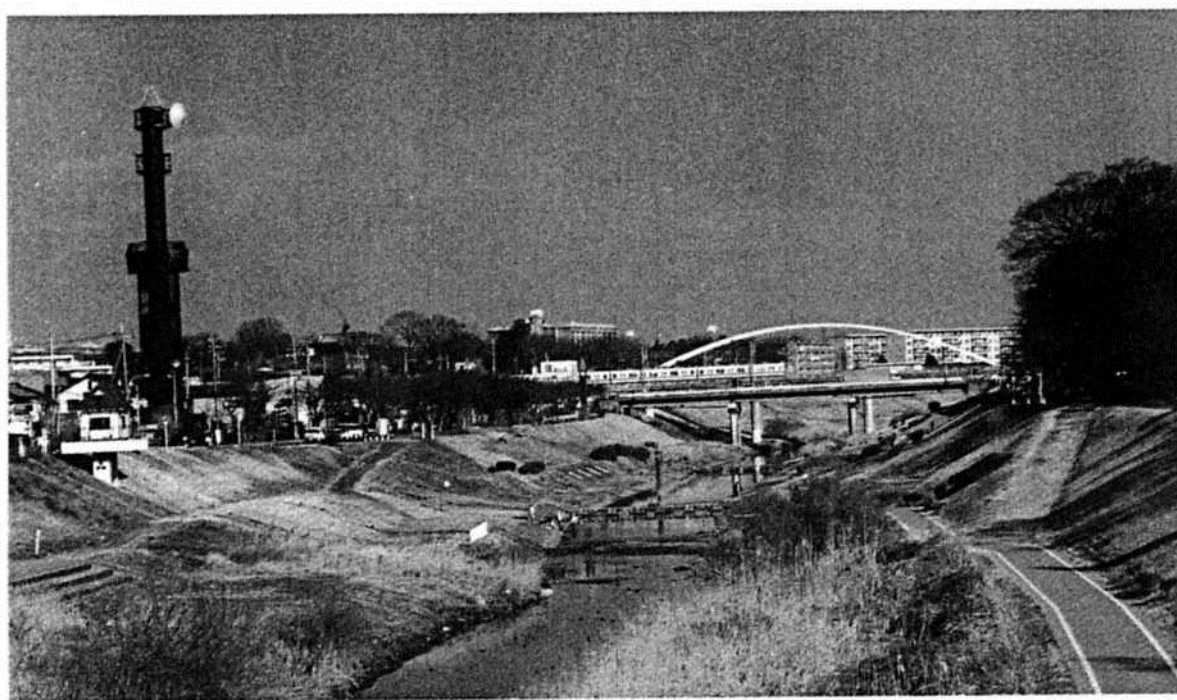


山流シルバー

第24号

発行／社団法人流山市シルバー人材センター
〒270-0114 流山市東初石3-103-18 ☎0471-55-3669



西暦2000年のときをみつめる利根運河

役立つセンターを 目指して



(社)流山市シルバー
人材センター
会長 山田 富雄

シルバー人材センターが地域社会の需要に適切に応えるには、必要な時に必要なサービスを提供できる人材を確保することが第一であります。

(一)画期的な福祉対策として四月からスタートする介護保険制度を契機に、家事援助サービス分野の就業拡大の為、女性会員を増強し体制の整備を図る。

(二)植木・襖の分野では毎年数多くの受注をお断りしている現状を解消する為に、技能者の育成を重点施策とし、講習会は勿論、仕事をしながら技能を修得するオン・ザ・ジョブ・トレーニングを主体に実施する。

(三)信頼と親しみこそ事業拡大の基本であることから、接遇講習を開催する等シルバー事業をより広く、より効果的に、全面展開を目指して取組んで参りたい。何卒ご理解ご協力をお願い致します。



輝かしい二〇〇〇年を

共に歩む

(社)流山市シルバー人材センター

事務局長 高村 由

シルバー人材センターは、
発足以来「自主」「自立」「共

働」「共助」を基本理念に会
員の知識、経験を生かし、地
域社会に貢献してきた。

このことは今後も変わらな
いが、むしろセンターの存在

の意義は一層重要となつてく
るものと思慮している。

しかし、今日課題も多い。

近年における、高齢化の進行、
景気低迷に伴う企業のリスト
ラ等、中・高年齢に対する就
業機会は、誠に厳しい状況に

ある。

取り分け、事業の拡大、就
業率の向上、業務執行体制の
整備等は急務であり、何より
も会員の英知が必要である。

輝かしい二〇〇〇年の節目
の年にシルバーの一員として、
会員の皆様と共に働き地域福
祉に参加できることは、大き
な喜びであり、次代に恥じな
い確かな足跡を残したいと考
えている。

(社)流山市シルバー人材セン

ターの第33回通常総会が去る、
平成12年3月14日(火)午前9時
30分から初石公民館において
開催された。

本総会は、第4地区の大谷
理事の司会で始まり、内田理
事の開会宣言、次いで山田会
長病欠席のため岡野副会長
が会長代理として挨拶にたつ
た。

次に、来賓挨拶では、眉山
流山市長が他の用務と重なり

欠席されたため、代理出席の
海老原保健福祉部長からご挨拶
を頂きました。(別途流山
市長挨拶)

また、当日は山崎流山市議
会議長、大塚、小宮両県議
議員其他の公務と重なり欠席
されましたが、大塚議員から
は「会員のご健勝と総会が盛
会でありますよう」ご伝言が、
また小宮議員からは「シルバー
人材センターの役割は重要で
事業の充実は時代の要請であ

る。」と祝電を頂きました。
続いて、公私共々多忙のな
か来賓として、ご出席を頂き
ました血矢流山市社会福祉協
議会事務局長、田中流山市老

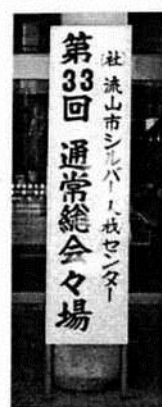


通常総会

平成12・3・14

第33回

平成12年度事業計画
平成12年度収支予算



人クラブ連合会副会長、高市
流山市高齢者支援課長の3名
の方々が紹介されました。

来賓退席後、総会議長に第

3地区の小池良男氏が選任さ
れ、先ず出席状況の報告とし
て、

第33回流山市シルバー人
材センター通常総会の開催
に当たりまして、一言御挨拶
を申し上げます。

平素から、流山市シルバー
人材センターの
会長さんをはじめ
め、会員各位並
びに御出席の皆
様には市政各般、
とりわけ、高齢
者福祉について、
深い御理解と御協力を賜つ
ており、本席をお借りし厚
くお礼を申し上げます。

御案内のとおり、本市の
シルバー人材センターは、
昭和59年設立以来、年々、
会員数、事業規模の拡大に

会員総数 四〇六名

出席会員 三五八名

うち委任状(表決委任者)

一九九名

で会議は成立している旨の報
告があり、次いで会議録署名
人に落合定雄氏、浅川善夫氏

尽力され、県下でも有数のシ
ルバー人材センターに成長さ
れております。

その業務は、市民から依頼
された各種の仕事のほかに、



流山市長
眉山俊光

福祉会館の管
理や自
転車駐
輪場の
管理を
はじめ

とした公共事業など幅広い分
野にわたり、まさに市民生活
に密着したサービスの提供に
務めていただいております、深く
感謝申し上げます次第でありま
す。

また、シルバー人材センター

が指名された。

議案審議に先立ち、岡野副
会長から提案理由の説明があ
り、続いて

「流山市シルバー人材センター
平成12年度事業計画について」
及び「流山市シルバー人材セ

の会員の皆様方が、長年にわ
たり培ってきた知識や経験、
技能等を活かしながら就労さ
れておりますことは、豊かな

老後生活と社会参加による生
きがいの実を感ぜようとする
意欲の表れであり、活力ある
地域社会づくりに大いに役立っ
ているものと考えております。

さて、シルバー人材センター
を取り巻く環境は、昨今の経
済情勢の影響で非常に厳しい
ものがございます。

このような中で平成11年度
においてはシルバー就業機会
開発プロジェクト事業の受注
や就業機会開拓専門員の配置
など積極的な事業運営に努め
られ、着実な事業の伸展をと

ンター平成12年度収支予算に
ついて」等13議案が順次審議
され、採決の結果、全議案共
賛成多数で可決承認された。

最後に内田理事の閉会宣言
により、午前11時35分終了と
なった。

げられており、皆様方のご
尽力に重ねて感謝申し上げます。
る次第であります。

市といたしましても、皆
様方の知識、経験及び技能
等を可能な限り活かしてい
ただけるよう、今後も就業
機会の拡大を含めた、支援
策の充実に努めて参りたい
と考えております。

終わりに、本日のこの総
会が大きな成果を納められ、
意義あるものとなるよう、
また、会員各位の英知と努
力による流山市シルバー人
材センターの益々の発展と
本日ご出席の皆様のご健勝
ご活躍を心から祈念いたし
ましてご挨拶いたします。

シルバー
Q & A
山田会長
に問う

Q 自主・自立・共働・共助
というシルバーセンター
の理念はどんなことなん
ですか。

(西深井 Aさん)

A シルバー人材センターは、
健康で働く意欲のある高齢
者の自主団体です。つまり
仕事の開拓、受注、運搬等
運営は会員自身がやる建前
になっているのが自主・自
立ですが、当センターの場
合は何もかも事務局への依
存度が高く、残念ながら自
主性が極めて希薄でありま
す。又仕事を受注するのは
事務局であって会員は何人

かのグループで受け持ち、
助け合い、所定の時間を就
業し、所定の単価による配
分金を受け取る形で運用さ
れるのが共働・共助という
訳です。従って就業の機会
は公平であることが望まし
いわけでご理解頂けたと思
います。

Q 会員に80才以上の高齢者
が可成いると聞いている
が定年制の考えはありま
すか。(若葉台 Tさん)

A このことは会員本人自らそ
の出処進退を決めることで
ありまして、何のために何
の目的で入会されたのか、

ご本人の処世の問題であり
ます。個人差もあり一概に
年齢だけで線を引くことは、
シルバーセンターの理念か
ら大変難しい判断であり
ます。唯大切なことは、加
齢により気力はあっても体
の機能はついて来ないこと
を自覚されることと、一度
しかない人生ですから、楽
しく明るい、ゆとりのある
日常生活を送ることこそ真
の生き甲斐であると、ご自
分で自分を処する以外に現
時点での策はございません。
※3月1日現在、80才以上の
会員は31名で内17名が元氣
で就業しております。

Q 就業が全くできない会員
にどう対処されるのです
か。(西平井 Oさん)

A 加齢によって体力的な衰え
等により、仕事はできない
が会費を払ってでも会員と
なっていることで、孤独感

から逃れ、心の支えとして
生き甲斐を求めている方が
存在していることは事実で
す。センターの目的は(1)働
くことを通して……となっ
ておりますが、「あなたは
働けなくなつたから退会す
るように」と言つて会員か
ら排除することは情として
誠に忍びないことです。(2)
とは申せ高齢者に就業の機
会を提供する目的で設立さ
れたセンターに就業出来な
い人を会員におくことは確
かに問題があります。(3)従つ
てこの矛盾を解決するには
長期末就業者の意識調査等
により実態を正確に把握し、
再入会が可能なので一時的
に退会して貰うことと、病
気等で就業できない者に対
しては、本人の健康第一、
さらには安全面を考慮して
意思確認の上退会を判断す
ることが適切な方法と思ひ
ます。

健康第一・安全第一

安全就業対策委員会 委員長 駒込 実

Q 仕事につけない会員が相
当いると聞いているが皆
が働けるような対策はお
考えですか。

(谷 Sさん)

A おっしゃる通りです。今就
業している仕事を既得権の

会員の
皆様日頃
安全就業
について
ご協力頂
きありが
とうござ
います。
11年度
も安全目
標を災害
"0"に
おいてま
いりまし
たが、上
半期にお
いて4件

ように居座って離さない根
性を改め、順番に交代で皆
が仕事につけるようにする
のがシルバーセンターの基
本的事業運営であります。が、
現実には必ずしも適正な状態
とは思われません。会報23
号のご挨拶でも申し上げま

ありました。会報第23号に掲
載しておきましたが下期にお
いて皆様のご協力により安全
作業を行っております。
委員として毎月一回安全パ
トロールの強化として
会員の就業先を巡回し
作業安全、交通安全を
喚起し健康管理事故防
止の徹底を図って参り
ました。そして器具の
点検脚立等の点検不良
個所の整備、又器具等
の管理整理に重点をおいて参
りました。尚最近病氣入院さ
れてる方が多くなっております。
ご自分の体はご自分で管

したように、只今「就業の
提供に関する取扱い基準」
を策定中でありまして、働
こうとする高齢者の意欲を
満足させる対応に懸命な努
力を傾注しているところで
あります。

※就業の基準についての骨子
は特定の会員のみならず
提供することのないように、
グループ制就業を推進し、
ローテーションを組んで仕
事の平均化を図ろうとする
考え方であります。

以上

理、早めに医師の診断をうけ
られる様念願しております。
市が行う定期健康診断を積極
的に受診する様お願いします。
作業にあたり次の要項をお



- (1) 常に健康
に注意し
良好な状
態で作業
しましょう
- (2) 通勤途上には充分気をつけ
ましょう。
- (3) 安全第一に心がけ急いんだり
あわてたりしないよう。
- (4) 服装、履物は作業にあった

- (5) 動きやすいものに。
- (6) 加齢による諸機能の低下を
充分認識し無理をしないよ
うに。
- (7) 高所作業の場合のヘルメッ
トは必ず着用し必要に応
じ命綱を使用しましょう。
- (8) 器具類は使用前に必ず点
検しましょう。
- (9) 器具類の返還のとき必ず
整備を行い、次の使用者に
迷惑をかけないように気を
つけましょう。
- (10) 酒気を帯びての作業は絶対
禁止しましょう。

介護保険スタートを前に 家事援助サービス講習会の開催

コーディネーター 錦 織 すみ子

日時 一月三十一日

午前十時

場所 流山市シルバー

人材センター

二階ホール

四月一日からスタートする介護保険制度に先立ち、家事援助サービス事業の講習会が開催されました。

高村事務局長の司会にはじまりまず、山田会長から「介護を社会全体で支えて行こう」と云う画期的な福祉政策に対しシルバーセンターとしても参加出来る分野において地域社会に貢献したく、体制の強化をはかって行きたい」と云う力強いご挨拶がありました。つづいて流山市社会福祉協議会事務局長 血矢周治様の

「介護保険制度の概要」の講

義、午後は社会福祉協議会施設長小沢文子様

の講義と一日の勉強会になりました。

まず血矢事務局長から、会

員の関心事であります四月一日からはじまる介護保険につ

いて、いま知っておきたい介護保険のテキストに基づい

て順次説明があり、保険

のしくみ、保険料、サービ

ス内容、認定基準等、参加者は目と

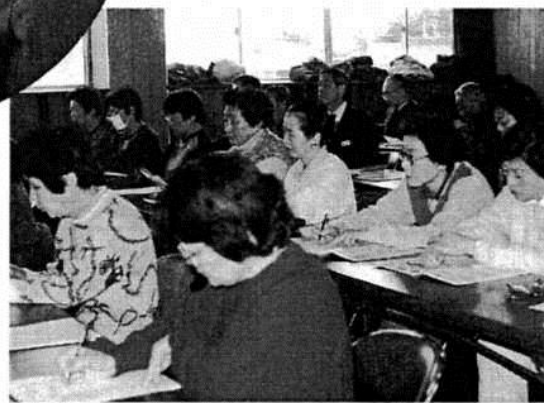
耳をこらし真

に



剣に聞き入りました。

特に、保険料について流山市では、低所得者の負担が重くならないように配慮された市独自の六段階となっている事を知り私達年金生活者達は安心したところです。



又介護サービス

受けるには本人か

家人が申請して、

市町村が審査判定

を下し、要介護度を

認定されます。流山市

には施設介護・居宅介護

支援事業所が二十八ヶ所もありますから、どの事業所を選択するのか日頃から情報を得ておく事が賢い利用者になれるのだと知り大変勉強になりました。

午後の会場は対話形式を考えて円卓に模様変えました。昼食をとりながら、家事サービスの発注状況・班編成を考えている事などを報告しながら、就労会員にエプロン配布、女性参加者全員に「心得しおり」を渡し、あわただしい懇親会になってしまいました。

一時からは小沢施設長による老人（依頼者）に対する接し方等を講義していただき、明るい挨拶が心ある接し方の基本だと話された。まもなく会員二人の体験談から内容が充実してきました。

A会員の就労先に三つの事業所から介助の仕事に入っていて、A事業所では日変わり人がちがって発注者の人権は守られないどころか健康状

態もわからないまま、食事を作って帰ってしまう事について発言がありました。

この点について小沢施設長はシルバー人材センターの対処の仕方に賛同していただき相手の尊厳に重視したサーピスが大切であると答えていただき、会員も安心しました。B会員は二人体制で曜日で

互助会研修の旅

奥塩原温泉へ

七地区 根岸 博

秋も深まった十月十四、十五の両日は奥塩原温泉への研修旅行です。

塩原温泉と聞けば、尾崎紅葉を始め多くの文人墨客が杖を引いた温泉で、彼らの文学碑を巡るだけでも楽しめる温泉郷。

尤も、今回我々シルバークラスのめざすのは「奥塩原」とかで筆者も初めての訪問。ともあれ流山文化会館その

C会員も就労しているお宅の出来事を発言しました。二時間で買物と食事作りが発注内容なのに高齢の男性の失禁があり、「お風呂に入れてあげたい」と思ったが、発注内容がない事なのでセンターに電話が入りました。家人の会社・出張先と電話して、風呂の操作を聞き出して、入浴させて

他へ朝の八時に集まった総員五十六名はホテル差し回しのバス三台を連ねて、一路東北高速「西那須野」ICを経て奥塩原温泉ホテル八汐へ。

到着して関西うどんで昼食を食べ終わったがまだやっと一時。早速近くを散策と考えたが生憎の雨。飲み始めるには早すぎるので温泉に浸って考えることとした。

公営の温泉が何ヶ所か有り混浴の湯も有るとのことだったが見渡すとところ明治・大正の美人に囲まれそうな気がしたのでホテルの露天風呂に浸かることに。白濁の硫黄泉だ

心身をさっぱりさせてあげた話。身につまされる問題で、スパッと割り切る事の出来ない仕事である事を皆さんに知っていただけたらと思います。自分が必要としている人がいる」という家事援助サーピスの仕事は誇りの持てる仕事だと、ホームヘルパー時代から私も思っていました。

が湯量も豊富でゆったりとした気分を満喫。

夕食は地下の大広間で、盛り上がるほどにのど自慢も飛び出し、あげくは一階ロビーでカラオケ大会となる。部屋へ戻ったら狭い所に五



Aさん、Bさん感動の話をありがとうございました。

最後になりましたが、講師の先生方に感謝申しあげると共に、一日講習会に参加して下さった会員の方々ありがとうございました。勉強された事を今後の活動に生かしていただけたら、幸いです。

人分の布団で足の踏み場もない。ところが流石物慣れた方がいて押し入れの上下に一人ずつ移り一件落着。素晴らしい聞きこえず朝まで安眠。

帰途には出来たばかりの日本一の大吊り橋は渡らずにバスの車窓から眺めるだけに、塩原町郷土資料館やからくり時計、TEPCO塩原ランドでは発電の仕組みなどを見学、天ぷら定食の昼御飯を頂き温泉饅頭をお土産に午後三時過ぎ無事流山に帰着。安い会費なのに盛り沢山で幹事さんの苦勞がしのばれました。次回を楽しみにしています。

辰年 会員の皆さん

辰年の性格

心理的に複雑な傾向がある。何かをまとめるのが上手。冒険心が強く情熱的で前進力があり、現実的に物事を処理していく能力を持っている。情にもろいが表面的にはプライドが高い。



池田 二郎 さん

- 昭和3年9月5日生
- 5地区

- カラオケ、旅行
- 千葉県出身
- 植栽の仕事で頑張ります



高橋 資郎 さん

- 昭和3年12月22日生
- 1地区
- 囲碁、山歩き、クラシック音楽

- 広島県出身
- 日本百名山のうち、未登頂の山が24座残っているので、いくつか登頂(斜里岳、祖母山など)できればと思っています。



岡野 末吉 さん

- 昭和3年7月25日生
- 5地区

- ゴルフ
- 茨城県出身
- 健康とボケ防止にゴルフ、パソコンに取り組んでいます。



梅沢 昭男 さん

- 昭和3年2月28日生
- 2地区

- スポーツをみる(テレビ観戦含む)
- 東京都出身
- ウォーキングをやっています。



戸田 宏 さん

- 昭和3年2月15日生
- 5地区

- 山登り、旅行
- 東京都出身
- パソコンのホームページ



駒込 実 さん

- 昭和3年8月2日生
- 2地区

- 音楽
- 山形県出身
- 毎日1万歩今年も頑張ります。



中園 利男 さん

- 昭和3年12月20日生
- 5地区

- 特にないが土いじりが大好き
- 鹿児島県出身
- 夏2回目富士登山を実施したい。



小松崎倉二 さん

- 昭和3年4月5日生
- 2地区

- 盆栽、スポーツ鑑賞
- 長野県出身
- ストレッチ体操



元気でがんばる!!



吉川 毅 さん

- 昭和3年1月14日生
- 7地区
- 麻雀、ゴルフ、詩吟、家庭菜園、陶芸、ダンス、グランドゴルフ等（経験年数順）
- 広島県出身
- 生涯大学専攻科入学とパソコンへのチャレンジ



増田 忠雄 さん

- 昭和3年1月4日生
- 5地区
- ソフトボール
- 東京都赤坂出身
- 健康で毎日元気でがんばりたい



原口 彬 さん

- 昭和3年11月24日生
- 7地区
- 旅行
- 長崎出身
- ゆったりと温泉につかる



宮原 昭三 さん

- 昭和3年5月22日生
- 5地区
- 社交ダンス、川柳
- 鹿児島県出身
- 郷里鹿児島の荒田小学校同窓会に参加すること



山崎 作藏 さん

- 昭和3年3月5日生
- 7地区
- 釣り
- 千葉県出身
- 健康で長く働きたいです



吉岡 一郎 さん

- 昭和3年3月14日生
- 6地区
- パチンコ
- 埼玉県北葛飾郡早稲田村丹後出身
- 盆栽



黒坂 保司 さん

- 昭和3年7月16日生
- 10地区
- 旅行、釣
- 山形県出身
- コミュニケーションの拡大化



伊林 数男 さん

- 昭和3年2月13日生
- 7地区
- カラオケ
- 東京都出身
- ボケ防止の為、パソコンの勉強を試みたいと思う昨今で有る。

会員の広場

「厚底靴への思い」

村上 旭（東深井）

北風が吹き荒れる朝だった。運河八番の整理に現場へ入ると、強風で何台もの自転車通路を塞ぐように横倒しになっていた。

入り口から順に倒れた自転車を起こしにかかっていると、駐輪場の中程に自転車を置いた若い女性が走ってくるのが目に入った。然も厚底靴である「危いな」と思った瞬間、その女性が、倒れた自転車を足を引っかけた転倒し、そのまま、蹲って動かなかった。

走り寄って彼女を助け起こすと、膝頭からかなりの血が吹き出ていた。持ち合わせのチリ紙を重ねて傷口を押えていると、出勤途上の人が私にバンドエイドを手渡してくれた。

一応手当てを済ませて女性を柵に凭せたら彼女は、バックから携帯電話を取り出して、「お父さん。私今、駐輪場で転んでケガをしたの。今日会社を休むから迎えにきてよ」と、悲痛な声で告げた。

若い女性の間に厚底靴が流行している。特に背の低い人には魅力だろうが災いも多い。

「一九九九年に二回倒れた話」

宮原 昭三（若葉台）

六月七日東中野大橋にて小学校同窓会に出席、帰り東武船橋駅切符売場に倒れ、まわりの人が頭を打たれましたよ、すぐ病院に行った方がよいとの声で驚いて目がさめた。駅事務室で二十分程休み気分がよくなったのですぐ帰宅した。二回目は十二月十七日中野区坂上先で歩道中に倒れる。病院に行った方がよいと親切に話してくれる人の声で眼が覚めた。地下鉄中野新橋まで案内してもらい、新宿・日暮里から自宅まで一人で帰りすぐH病院へ、今倒れましたと話したら、すぐタクシーでT病院へ行つて下さい。T病院でCTレントゲンをとり、一過性脳梗塞とわかり、サールプ薬をもらった。一ヶ月位は調子が悪かったが今は順調に生活している。後遺傷害もなく生活できるのは日常、毎日曜日ジョギング講習会・社交ダンスの練習・ストレッチ体操を十五分間やっている。薬を飲んでいても倒れる病気だ。考へてみると前日酒類を飲み過ぎた結果ではないかと思ひ今では殆んど酒は飲まない。原因は子供の頃は血液はサラ／＼よく流れるが、年をとるとドロ／＼の血液で頭のシシまで届かないのではないかと只今血液を綺麗にする「エナジートロン（無料）」をしている。NHKでも血液をサラ／＼する玉葱の料理を知らせている。残り少ない人生を多勢

の人に声をかけ、楽しく生き生きと「地球にやさしく人に親切に」をモットーに生活するこの頃だ。

川 柳

機関銃 頭を打たれ我生きる

「ボケ」考

田中 英二（東深井）

大正九年生れの私の兄は、昨夏ボケで他界した。私たちのトシになるとボケのことがよく日常会話に出る。ボケが珍しい病気でなくなったのである。

ボケは脳の萎縮化現象だと言うが何故そうなるのか。これは研究論文ではないので、生活の中で感じたことを述べてみよう。

前述した私の兄は世に言うマジメ人間であった。趣味は何ももっていない。酒はダメ、会社人間で町議員・町内会長をやめたとき一体彼の頭に何が残ったか。待っていたのはボケではなかったか。そう考へるとシルバー人材センターで働いてる私達はボケ予防をしているような気がするのである。

しかし、ものには絶対ということはないと言う。多くの趣味（囲碁・将棋・グランドゴルフ等）をもつこと・明るい家庭・仲間づくりに努力すること。こうして人生そのものを楽しくすることがボケ予防に一番と思う。

俳句

梅林の奥に小さき開墾碑

朝霞む利根開門の軋しむ音

雪晴れや堆肥湯気立つ裏畑

花冷えや江戸民芸の箱枕

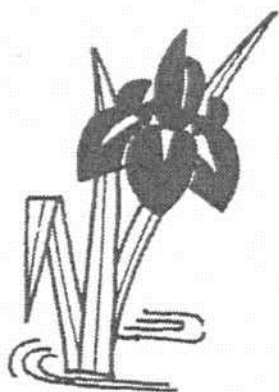
(平方) 松田 明

柿の実が空に朱を打つ秋日和

昇り龍節目重なるミレニアム

人生の醍醐味さぐる齡は古稀

(向小金) 内田 弘



短歌

西向きの部屋にすまいて

咲かざりし

ペコニア咲ける家移り来て

落成も真近き吾家の

ともしびが

皓々と映ゆる心すがしき

(江戸川台西) 犬養 吉胤

初春や松のみどりに

いろ添えて

一さし舞うて ころろ寿ぐ

(西平井) 滝脇ヒロ子

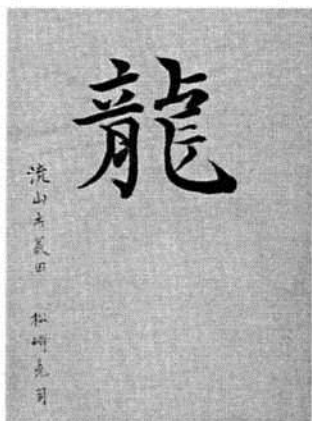
書画



(こうのす台)
小熊 富美子



(三輪野山)
内藤 清行



(美 田)
松崎 亮司



(東深井)
塩島 孤山

事務局便り

署名活動の実施について

高村事務局長

去る、2月全国のシルバー人材センターが一斉に署名活動を行いました。

この運動は、今後シルバー人材センターの社会的な重要性が一層増すことから、国の補助金の拡充強化、県・市等の援助内容の充実強化、さらには就業機会開発体制の整備等について、関係機関等に要望するものであります。

この署名活動の結果、流山市シルバー人材センターでは、会員数406名に対し署名者数1,898名(会員1人当たり4.7人)と皆様の多大のご協力を頂きました。

また、3月16日全国シルバー人材センター事業協会長、千葉県シルバー人材センター連合会長及び流山市シルバー人

材センター会長の3者連名により、流山市長と流山市議会議長に対し要望書の提出をいたしました。
署名活動のお礼とご報告を申し上げます。

会員の動き

(平成十一年四月一日

～平成十二年二月末日)

新入会員

三十一名

退会員

十八名

総会員数

四百十二名

行事予定

平成十二年度前半の行事

計画は左記のとおりです。

五月 役員会

総会

六月 役員会

千葉県シルバーの日

七月 理事会

安全就業強化月間

九月 理事会

地区別の会員数

地区別会員数は次の通りです。あなたの所属区を確認して下さい。

地区別会員数表		
区	会員数	町名
1	39	西深井・平方・美原他
2	58	東深井・こうのす台
3	30	江戸川台西・富士見台他
4	35	江戸川台東・駒木台・青田
5	45	西初石・若葉台・下花輪他
6	44	東初石・駒木・美田・十太夫
7	59	流山1～9・平和台・加・三輪野山他
8	29	野々下・長崎・芝崎他
9	45	南流山1～8・西平井・鶴ヶ崎他
10	28	向小金・松ヶ丘・名都借他
計	412	(2月末現在)

おくやみ申し上げます

平成十一年十二月死去
齊藤 満さん(東初石)
平成十一年十二月死去
外池 耕三さん(江戸川東)
平成十二年一月死去
出雲 雅成さん(東深井)
平成十二年二月死去
安藤 義晴さん(野々下)
謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

■平成十二年、西暦二千年の年があけて、早やくも春三月となった。第三十三回の総

会も無事終了。こゝに会報二十四号をお届けしたが、すでにお気づきの会報タイトルであるが、輝やかしい節目の年を機に本号より「シルバー流山」と改正させていただいた。
■今後とも、わがまち流山の発展と共に、シルバー人材センターの地域社会に果たす役割りは、一層重要になって来るものと思われる。
会員諸兄の更なるご活躍を切に祈る次第である。

編集委員

大谷喜一郎 塩島 性一
内田 弘 紅谷 信一
滝脇ヒロ子 塚田 正信